

令和4年12月15日
豊岡市商工会

豊岡市商工会管内企業動向調査結果

(令和4年10月～12月期実績、令和5年1月～3月期見通し)

《1》 調査時点 令和4年12月5日

《2》 調査対象

調査依頼先
150企業

有効回答数
133企業 (回答率88%)

業種	企業数	城崎		竹野		日高		出石		但東		回答数
		対象	回答									
製造業	27	2	2	3	2	10	9	8	7	4	3	23
建設業	26	2	2	3	3	13	13	5	5	3	3	26
小売業	33	9	8	2	2	11	8	9	9	2	2	29
飲食業	22	7	6	2	2	6	5	6	6	1	1	20
宿泊業	20	8	7	5	3	7	4	0	0	0	0	14
サービス業	22	2	2	2	2	12	11	3	3	3	3	21
合計	150	30	27	17	14	59	50	31	30	13	12	133

《3》 調査項目

- ①売上高 ②仕入単価 ③採算性 ④資金繰り ⑤景況感
⑥従業員の人数 ⑦直面している経営上の問題 ⑧今後取り組んでいきたいこと
⑨原材料の不足や高騰の影響 ⑩その具体的な内容

【令和4年10～12月期実績】

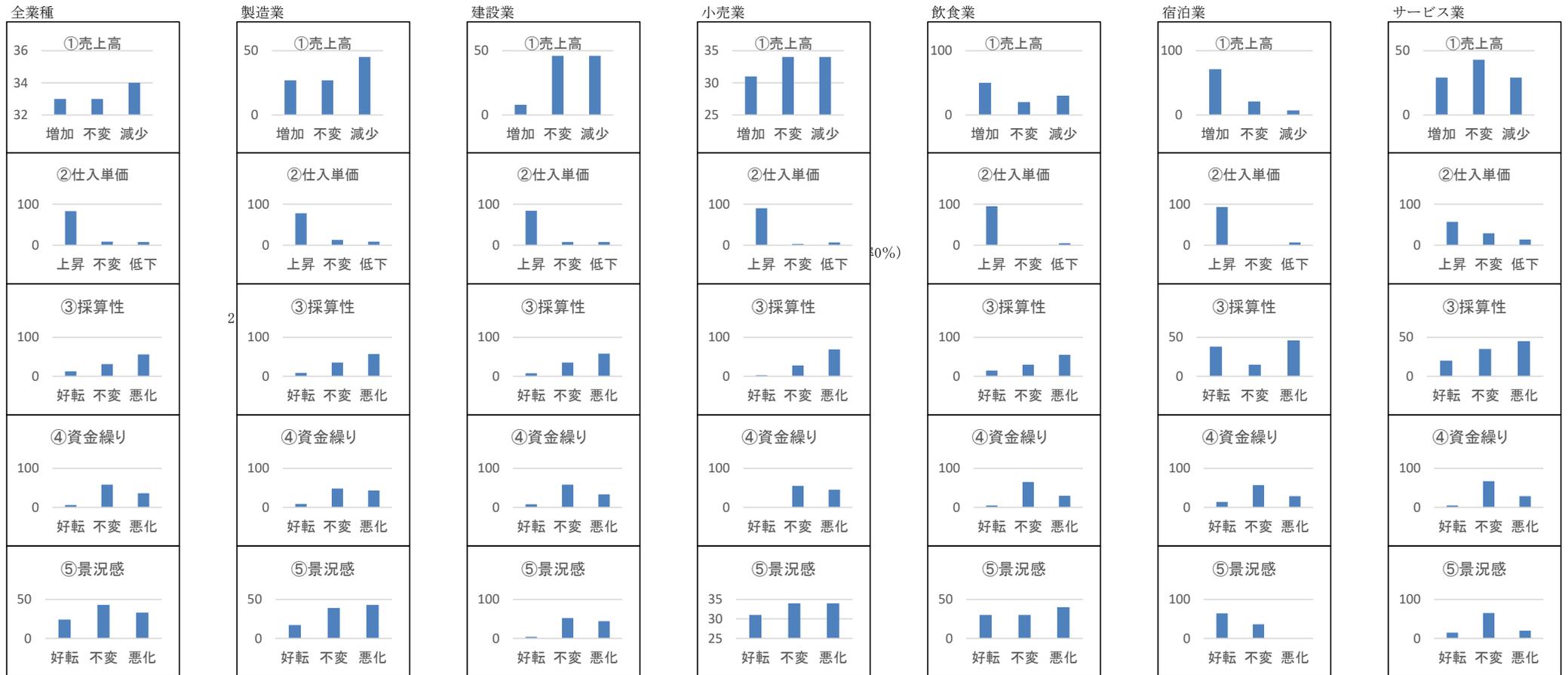
(1)	全業種の売上高DIは、(前期1→)2(前期比1ポイント上昇)となりプラスに転じた。
	業種別売上高DIは、建設業、飲食業、宿泊業、サービス業でポイントが上昇し、製造業、小売業は低下した。
(2)	全業種の仕入単価DIは、(前期74→)72(前期比2ポイント下降)となりマイナス幅が拡大した。
	業種別仕入単価DIは、建設業、小売業、サービス業でポイントが上昇し、製造業、飲食業、宿泊業で低下した。
(3)	全業種の採算性DIは、(前期▲41→)▲40(前期比1ポイント上昇)となりマイナス幅が縮小した。
	業種別採算性DIは、製造業、飲食業、宿泊業でポイントが上昇し、建設業、小売業、サービス業で低下した。
(4)	全業種の資金繰りDIは、(前期▲28→)▲28となり(前期比0ポイント)横ばい。
	業種別資金繰りDIは、飲食業(+15)、宿泊業(+38)で大きくポイントが上昇、製造業、建設業、小売業、サービス業は低下した。
(5)	全業種の景況感DIは、(前期▲18→)▲23(前期比5ポイント)となりマイナス幅が拡大した。
	業種別の景況感DIは、製造業、建設業、飲食業、宿泊業、サービス業でポイントが上昇し、小売業のみ低下した。

【令和5年1～3月期の見通し】

(1)	全業種の売上高DIは、▲29となり27ポイントマイナス幅が拡大する見通し。
	業種別売上高DIは、全業種で低下する見通し。
(2)	全業種の仕入単価DIは、74となり2ポイントプラス幅が拡大する見通し。
	業種別仕入単価DIは、建設業、宿泊業、サービス業が上昇し、小売業、飲食業で低下、製造業は横ばいの見通し。
(3)	全業種の採算性DIは、▲51となり11ポイントマイナス幅が拡大する見通し。
	業種別採算性DIは、建設業のみ上昇し、製造業、小売業、飲食業、宿泊業、サービス業が低下する見通し。
(4)	全業種の資金繰りDIは、▲29となりポイントマイナス幅が拡大する見通し。
	業種別の資金繰りDIは、小売業、宿泊業が上昇し、製造業、建設業、飲食業、サービス業が低下する見通し。
(5)	全業種の景況感DIは、▲34となり25ポイントマイナス幅が拡大する見通し。
	業種別の景況感DIは、宿泊業が上昇し、製造業、建設業、小売業、飲食業、サービス業が低下する見通し。

【1】前年同期比

前年同期（令和3年10月～12月）と比べた今期（令和4年10月～12月）の状況

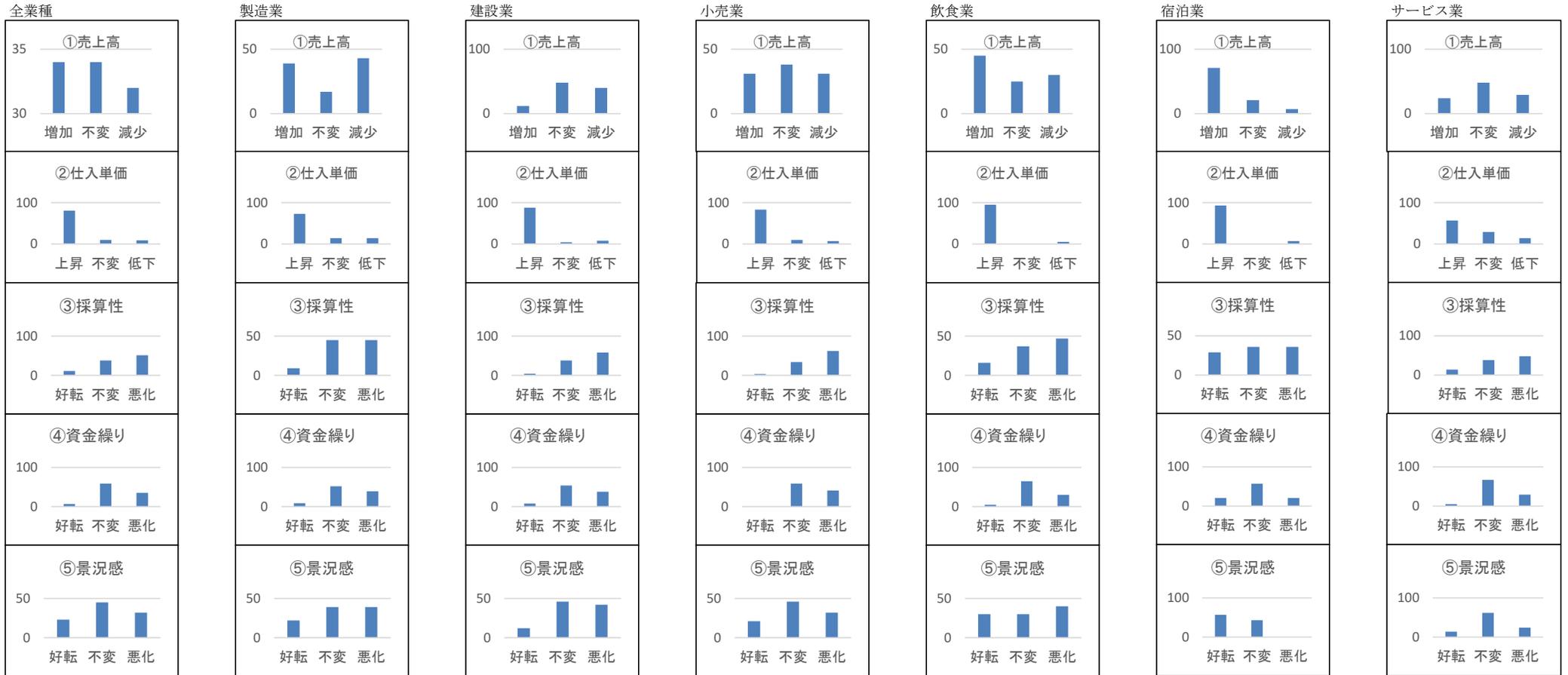


【全業種・業種別D I】

	全業種	製造業	建設業	小売業	飲食業	宿泊業	サービス業
売上高	▲ 1	▲ 18	▲ 38	▲ 3	20	64	0
仕入単価	75	69	76	83	90	86	43
採算性	▲ 43	▲ 48	▲ 50	▲ 66	▲ 40	▲ 8	▲ 25
資金繰り	▲ 30	▲ 34	▲ 25	▲ 45	▲ 25	▲ 15	▲ 24
景況感	▲ 9	▲ 26	▲ 40	▲ 3	▲ 10	64	▲ 5

(注) 売上D Iは「増加」企業割合－「減少」企業割合
 仕入単価D Iは「上昇」企業割合－「低下」企業割合
 採算性D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合
 資金繰りD Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合
 景況感D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合

【2】前期比
前期（令和4年7月～9月）と比べた今期（令和4年10月～12月）の状況



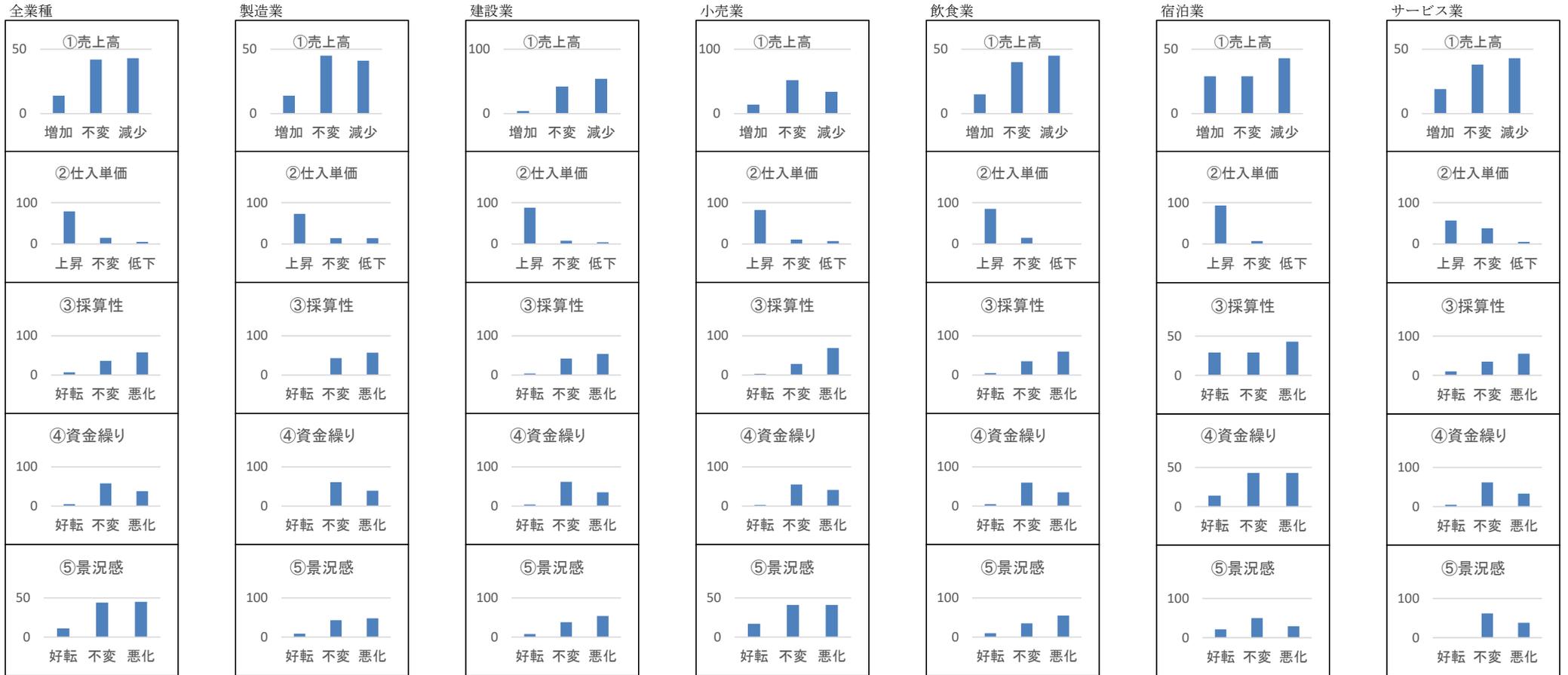
【全業種・業種別D I】

	全業種	製造業	建設業	小売業	飲食業	宿泊業	サービス業
売上高	2	▲4	▲28	0	15	64	▲5
仕入単価	72	59	80	76	90	86	43
採算性	▲40	▲36	▲54	▲59	▲31	▲7	▲34
資金繰り	▲28	▲30	▲30	▲41	▲25	0	▲24
景況感	▲9	▲17	▲30	▲11	▲10	57	▲10

(注) 売上D Iは「増加」企業割合－「減少」企業割合
仕入単価D Iは「上昇」企業割合－「低下」企業割合
採算性D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合
資金繰りD Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合
景況感D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合

【3】来期の見通し

今期（令和4年10月～12月）と比べた来期（令和5年1月～3月）の見通し

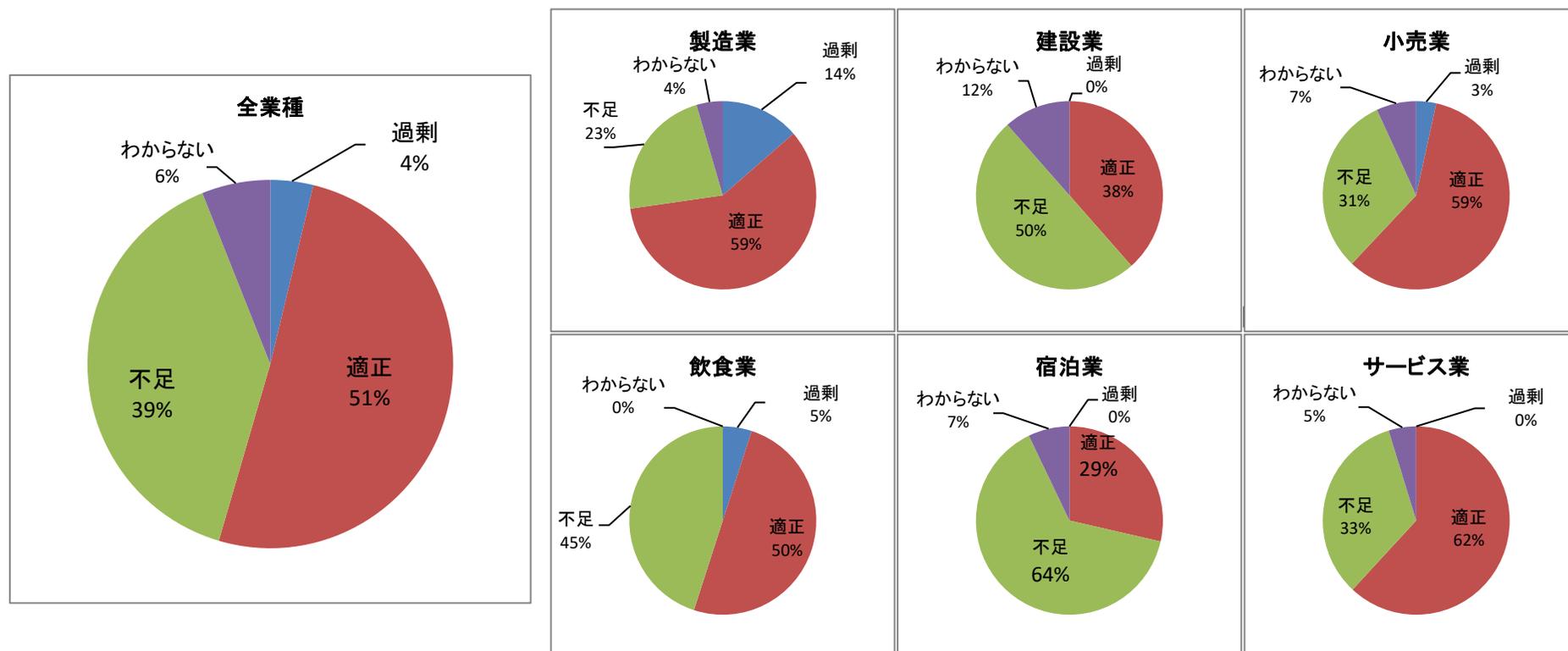


【全業種・業種別D I】

	全業種	製造業	建設業	小売業	飲食業	宿泊業	サービス業
売上高	▲ 29	▲ 27	▲ 50	▲ 20	▲ 30	▲ 14	▲ 24
仕入単価	74	59	84	75	85	93	52
採算性	▲ 51	▲ 57	▲ 50	▲ 66	▲ 55	▲ 14	▲ 45
資金繰り	▲ 33	▲ 39	▲ 31	▲ 38	▲ 30	▲ 29	▲ 28
景況感	▲ 34	▲ 39	▲ 46	▲ 24	▲ 45	▲ 8	▲ 38

(注) 売上D Iは「増加」企業割合－「減少」企業割合
仕入単価D Iは「上昇」企業割合－「低下」企業割合
採算性D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合
資金繰りD Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合
景況感D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合

【4】従業員（臨時・パート含む）の人数について



今期（R4.10～12月）

⑥従業員の数（件数）	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業	
	件数	比率	件数	比率										
過剰	5	3.8%	3	13.6%	0	0.0%	1	3.4%	1	5.0%	0	0.0%	0	0.0%
適正	67	50.8%	13	59.1%	10	38.5%	17	58.6%	10	50.0%	4	28.6%	13	61.9%
不足	52	39.4%	5	22.7%	13	50.0%	9	31.0%	9	45.0%	9	64.3%	7	33.3%
わからない	8	6.1%	1	4.5%	3	11.5%	2	6.9%	0	0.0%	1	7.1%	1	4.8%
合計	132		22		26		29		20		14		21	

対前期比（R 4. 7～9月）

⑥従業員の数（件数）	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業	
	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減								
過剰	4.3%	-0.5	8.0%	5.6	0.0%	0.0	3.2%	0.2	9.1%	-4.1	6.3%	-6.3	0.0%	0.0
適正	54.3%	-3.5	56.0%	3.1	34.6%	3.9	54.8%	3.8	81.8%	-31.8	37.5%	-8.9	61.1%	0.6
不足	34.8%	4.6	28.0%	-5.3	50.0%	0.0	35.5%	-4.5	9.1%	35.9	50.0%	14.3	38.9%	0.3
わからない	6.5%	-0.4	8.0%	-3.5	15.4%	-3.9	6.5%	0.4	0.0%	0.0	6.3%	0.8	0.0%	0.1

【実績】

全業種でみると、従業員の数「適正」と回答した経営者が最も多く全体の50.8%を占める。ついで「不足」と回答した経営者は、39.4%である。前期比較では、「適正」が4.6ポイント減少、「不足」は4.9ポイント増加しており、「不足」と回答した割合が増加した。

（製造業）「適正」が59.1%と回答した経営者が最も多く、前期比較でも13.3ポイントと増加幅が大きい。

（建設業）「不足」と認識している経営者が50.0%と最も多く、全業種でも宿泊業に次いで高い割合で「不足」と回答された業種となった。前期比でも14.0%とポイントの増加幅が大きい。

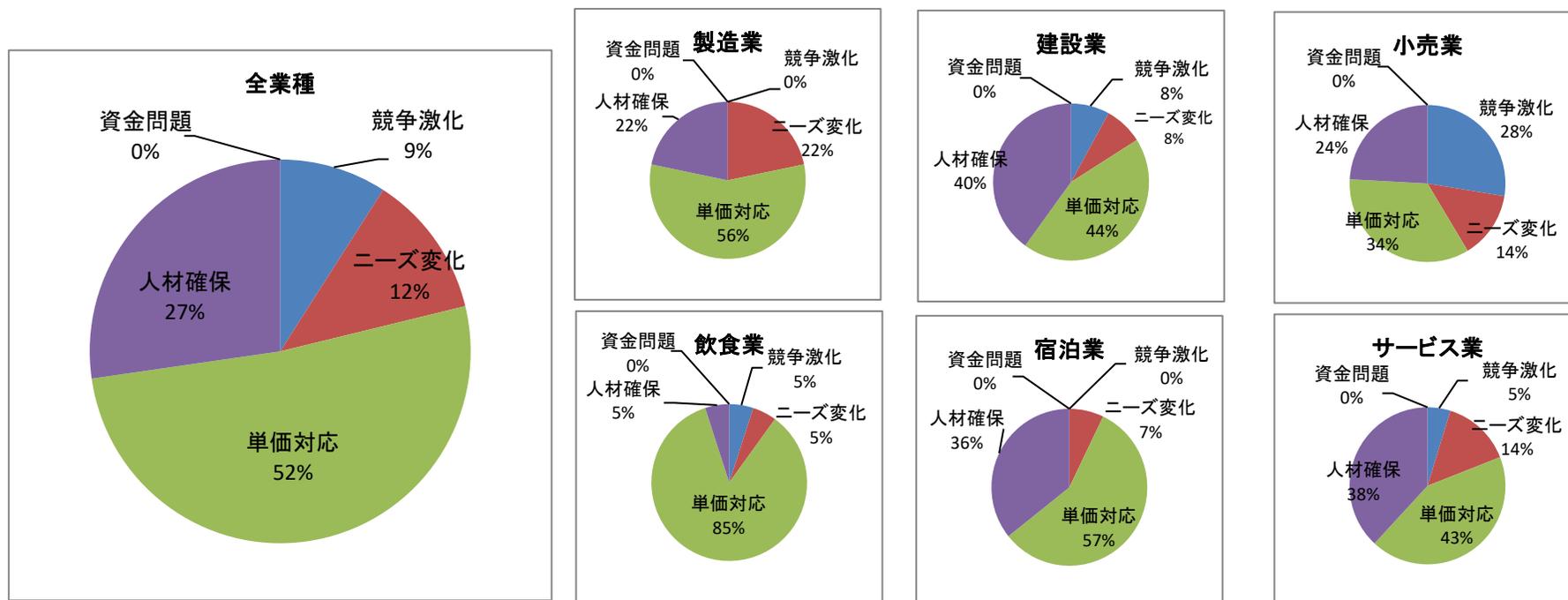
（小売業）「適正」と認識する回答が58.6%と最も高いが、前期比では8.1%ポイントが減少。「過剰」、「不足」と認識する経営者がそれぞれ3.4%、4.3%と増加しており事業所によって分かれる形となった。

（飲食業）「不足」と認識する経営者は、45.0%で前期比より35.9ポイントと大きい増加幅となった。

（宿泊業）全業種の中で「不足」と認識する割合が多い結果となり、前期比較でも適正がマイナス8.9ポイントと大きく減少した。

（サービス業）「適正」が31.9%と全業種のなかで最も高い割合での回答となった。

【5】直面している経営上の問題点について



今期 (R4.10~12)

⑦直面している経営上の問題点	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業		
	件数	比率	件数	比率											
大手企業(大型店)進出、インターネット普及による販売競争の激化	12	9.1%	0	0.0%	2	8.0%	8	27.6%	1	5.0%	0	0.0%	1	4.8%	競争激化
消費者(製品)ニーズ変化への対応	16	12.1%	5	21.7%	2	8.0%	4	13.8%	1	5.0%	1	7.1%	3	14.3%	ニーズ変化
仕入単価(原材料)の上昇、販売受注単価の低下	68	51.5%	13	56.5%	11	44.0%	10	34.5%	17	85.0%	8	57.1%	9	42.9%	単価対応
必要な人材の雇用確保	36	27.3%	5	21.7%	10	40.0%	7	24.1%	1	5.0%	5	35.7%	8	38.1%	人材確保
事業資金の借入難	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	資金問題
合計	132		23		25		29		20		14		21		

対前期比（R4.7～9）

⑦直面している経営上の問題点	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業		
	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	
大手企業（大型店）進出、インターネット普及による販売競争の激化	8.7%	0.4	4.0%	-4.0	8.0%	0.0	19.4%	8.2	0.0%	5.0	0.0%	0.0	15.8%	-11.0	競争激化
消費者（製品）ニーズ変化への対応	18.1%	-6.0	28.0%	-6.3	0.0%	8.0	25.8%	-12.0	9.1%	-4.1	18.8%	-11.7	26.3%	-12.0	ニーズ変化
仕入単価（原材料）の上昇、販売受注単価の低下	47.8%	3.7	48.0%	8.5	60.0%	-16.0	38.7%	-4.2	72.7%	12.3	43.8%	13.3	21.1%	21.8	単価対応
必要な人材の雇用確保	23.9%	3.4	20.0%	1.7	32.0%	8.0	16.1%	8.0	9.1%	-4.1	37.5%	-1.8	36.8%	1.3	人材確保
事業資金の借入難	1.4%	-1.4	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	9.1%	-9.1	0.0%	0.0	0.0%	0.0	資金問題

全国商工会連合会が発表した「2022年10-12月期中小企業景況調査（約8000企業対象、12月1日時点調査実施）」でも、経営上の問題点として前期に引き続きコスト面に関する懸念を上げる経営者が増えているとの結果がまとめられている。当会調査においても、「仕入単価（原材料）の上昇、販売受注単価の低下」と認識する経営者が最も多く全業種で51.5%の割合となった。

（製造業）1番の問題と認識しているのは、5期連続で「仕入単価（原材料）の上昇、販売受注単価の低下」が1位となり、5割を超える51.5%（対前期3.7ポイント増加）の経営者が指摘している。2位は「消費者（製品）ニーズ変化への対応」「必要な人材の雇用確保」が2位となっているが34.8%と1位とは大きく差がついている。

（建設業）第1位は3期連続で「仕入単価（原材料）の上昇、販売受注単価の低下」があげられ、前回から16.0ポイント減少したものの44.0%と高い水準で推移している。続く2位は「必要な人材の雇用確保」で割合は40.0%とこちらも高い結果となった。

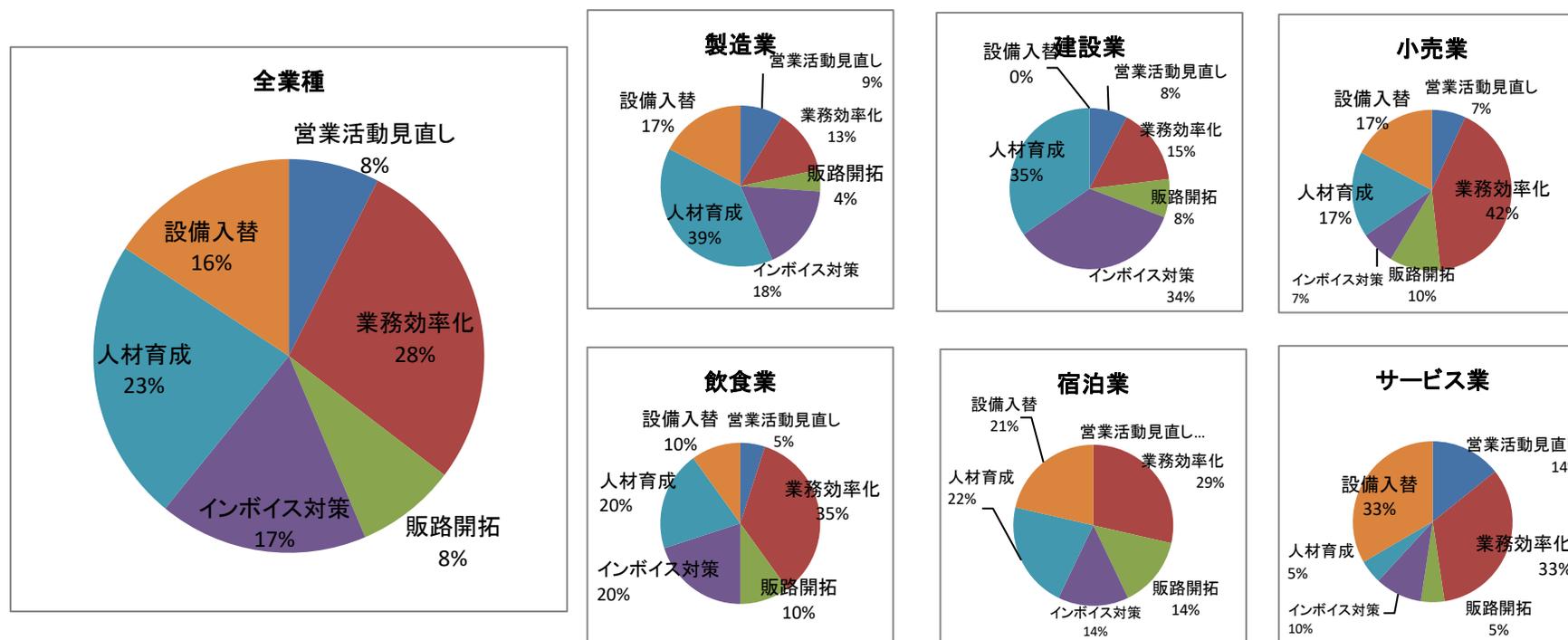
（小売業）直面している経営上の課題として指摘される割合は3期連続で「仕入単価（原材料）の上昇、販売受注単価の低下」が1位となり、その割合は-4.2ポイント減少して34.5%となった。2位は、「大手企業（大型店）進出、インターネット普及による販売競争の激化」で前期対比8.2ポイント増加し、27.6%となった。次いで8.0ポイント増加し「必要な人材の雇用確保」が3位となり24.1%である。

（飲食業）直面している経営上の課題の推移をみると、1番の問題として指摘される割合が一番多かったのは5期連続で「仕入単価（原材料）の上昇、販売受注単価の低下」となり、指摘される割合は12.3ポイント上昇し85.0%と全業種で最も高い比率となった。

（宿泊業）第1位は、5期連続で「仕入単価（原材料）の上昇、販売受注単価の低下」となり13.3ポイント増加して57.1%と2位の「必要な人材の雇用確保」と21.4%と大きく差がついている。3位は「消費者ニーズ変化への対応」（7.1%）となっており、2期連続で1位～3位の順位・項目に変動はない。

（サービス業）1番の問題と認識しているのは、2期連続で「仕入単価（原材料）の上昇、販売受注単価の低下」が1位となり、21.8ポイント増の42.9%と4割以上となった。次いで「必要な人材の雇用確保」を指摘する経営者は、38.1%で対前期1.3ポイント増加した。

【6】 今後、取り組んでいきたいこと



今期 (R4.10~12)

⑧今後、取り組んでいきたいこと	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業		
	件数	比率	件数	比率											
既存顧客のリスト化、営業活動の見直し	10	7.5%	2	8.7%	2	7.7%	2	6.9%	1	5.0%	0	0.0%	3	14.3%	営業活動見直し
業務の効率化、仕事の見える化	37	27.8%	3	13.0%	4	15.4%	12	41.4%	7	35.0%	4	28.6%	7	33.3%	業務効率化
販路開拓 (商談会・展示会・プレスリリース等)	11	8.3%	1	4.3%	2	7.7%	3	10.3%	2	10.0%	2	14.3%	1	4.8%	販路開拓
インボイス制度対策、会計管理の見直し	23	17.3%	4	17.4%	9	34.6%	2	6.9%	4	20.0%	2	14.3%	2	9.5%	インボイス対策
人材育成、社員教育	31	23.3%	9	39.1%	9	34.6%	5	17.2%	4	20.0%	3	21.4%	1	4.8%	人材育成
設備の入替・更新	21	15.8%	4	17.4%	0	0.0%	5	17.2%	2	10.0%	3	21.4%	7	33.3%	設備入替
合計	133		23		26		29		20		14		21		

対前期比（R4.7～9）

⑧今後、取り組んでいきたいこと	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業		
	前期比率	前期増減													
既存顧客のリスト化、営業活動の見直し	18.7%	-11.2	20.0%	-11.3	11.5%	-3.8	29.0%	-22.1	18.2%	-13.2	12.5%	-12.5	15.8%	-1.5	営業活動見直し
業務の効率化、仕事の見える化	20.9%	6.9	20.0%	-7.0	7.7%	7.7	22.6%	18.8	18.2%	16.8	31.3%	-2.7	31.6%	1.7	業務効率化
販路開拓（商談会・展示会・プレスリリース等）	10.8%	-2.5	8.0%	-3.7	7.7%	0.0	12.9%	-2.6	13.6%	-3.6	18.8%	-4.5	5.3%	-0.5	販路開拓
インボイス制度対策、会計管理の見直し	9.4%	7.9	0.0%	17.4	15.4%	19.2	6.5%	0.4	22.7%	-2.7	6.3%	8.0	5.3%	4.2	インボイス対策
人材育成、社員教育	22.3%	1.0	28.0%	11.1	46.2%	-11.6	19.4%	-2.2	9.1%	10.9	0.0%	21.4	21.1%	-16.3	人材育成
設備の入替・更新	18.0%	-2.2	24.0%	-6.6	11.5%	-11.5	9.7%	7.5	18.2%	-8.2	31.3%	-9.9	21.1%	12.2	設備入替

経営者が「今後、取り組んでいきたいこと」として全業種では、「業務の効率化、仕事の見える化」が6.9ポイント増の27.8%で1位となり、「人材育成、社員教育」が1.0ポイント上昇し23.3%で2位と順位が入れ替わった。続く3位は、「インボイス制度対策、会計管理の見直し」が23.3%（対前期7.9ポイント増加）、4位「設備入替・更新」15.8%（対前期2.2ポイント減少）の順位となった。

（製造業）1番に取り組みたいこととして前期と変動なく「人材育成・社員教育」が1位となり39.1%（対前期11.1ポイント増加）となった。次いで前期同様に「設備の入替・更新」が前期比-6.6ポイント減少したが17.4%、同じ割合で前回6位であった「インボイス制度対策、会計管理の見直し」が17.4ポイントと大きく増加し2位となった。

（建設業）第1位は同率で「インボイス制度対策、会計管理の見直し」「人材育成、社員教育」となった。「インボイス制度対策、会計管理の見直し」は前期対比19.2ポイントと大きく増加、「人材育成、社員教育」は前期対比-11.6ポイント減少し34.6%。3位は「業務の効率化、仕事の見える化」で7.7ポイント増加し15.4%。

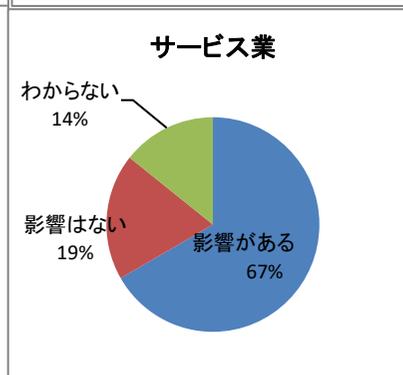
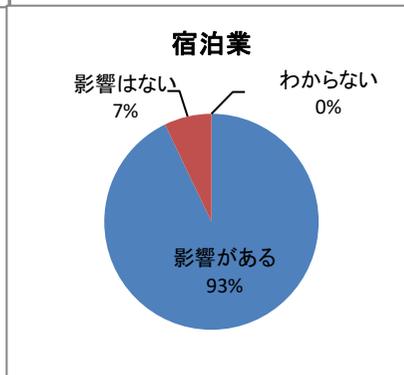
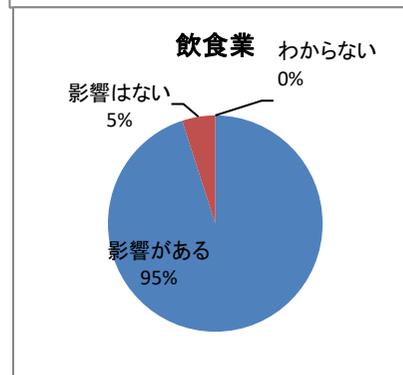
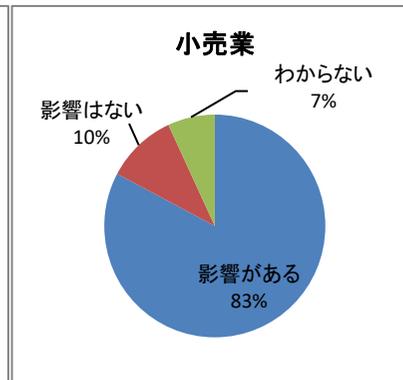
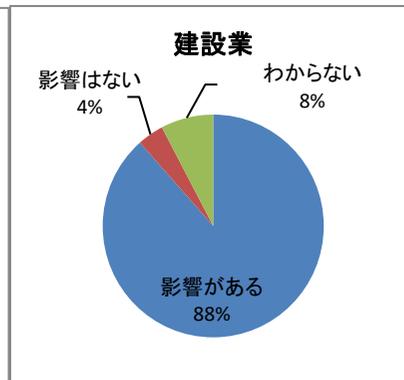
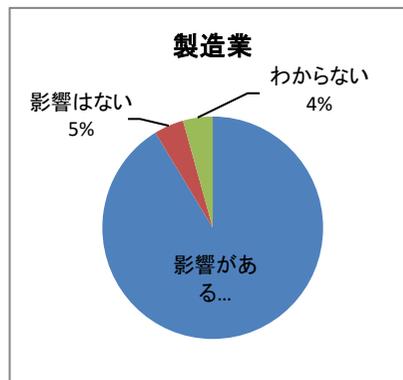
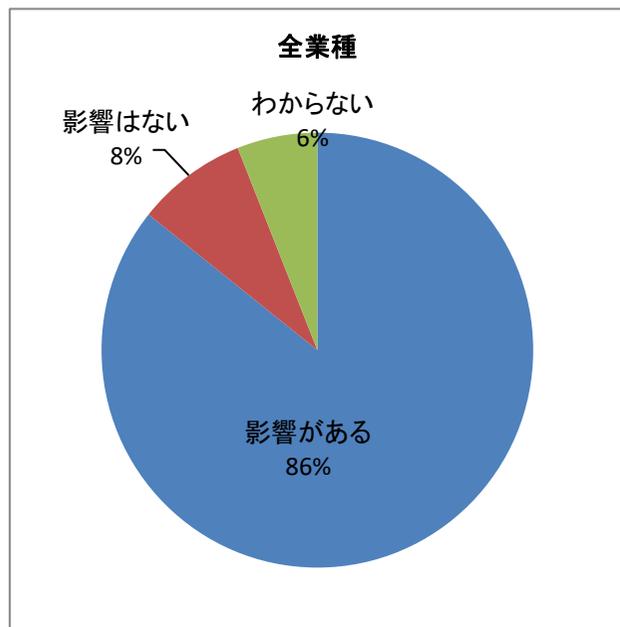
（小売業）今後取り組みたいこととして前期2位の「業務の効率化、仕事の見える化」が41.4%（対前期18.8ポイント増加）で1位となった。前期1位の「既存顧客のリスト化、営業活動の見直し」は6.9%（対前期22.1ポイント減少）と大きく順位を下げた。2位は「人材育成、社員教育」（対前期2.2ポイント減少）、「設備の入替・更新」（対前期比7.5ポイント増加）で17.2%となり「設備の入替・更新」を検討する経営者の割合も増えた結果となった。

（飲食業）経営者が1番取り組みたいと認識する割合が一番多かったのは、「業務の効率化、仕事の見える化」となり、その割合は16.8ポイント増加し35.0%となった。前期1位の「インボイス制度対策、会計管理の見直し」は2位となり20.0%（対前期2.7ポイント減少）で直前に迫るインボイス制度に対し関心が高いことが伺える。

（宿泊業）「業務の効率化、仕事の見える化」、「設備の入替・更新」が微減しつつも前期に続き高順位で多くの経営者が取り組みたいと考えている。対前期でポイントが増加したのは、「人材育成、社員教育」21.4%（対前期比21.4ポイント増加）、「インボイス制度対策、会計管理の見直し」14.3（対前期8.0ポイント増加）となった。

（サービス業）2期連続で「業務の効率化、仕事の見える化」33.3%（対前期1.7ポイント増加）が1位であった。同じく33.3%で「設備の入替・更新」が同率1位となっており対前期12.2ポイントと大きく増加した。

【7】 自社の主な商品・サービスにおいて原材料の不足や高騰の影響はありますか？



今期 (R 4.10~12)

⑨原材料の不足や高騰の影響はありますか？	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業	
	件数	比率	件数	比率										
影響がある	114	85.7%	21	91.3%	23	88.5%	24	82.8%	19	95.0%	13	92.9%	14	66.7%
影響はない	11	8.3%	1	4.3%	1	3.8%	3	10.3%	1	5.0%	1	7.1%	4	19.0%
わからない	8	6.0%	1	4.3%	2	7.7%	2	6.9%	0	0.0%	0	0.0%	3	14.3%
合計	133		23		26		29		20		14		21	

影響がある

影響はない

わからない

対前期比（R 4. 7～9）

⑨原材料の不足や高騰の影響はありますか？	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業	
	前期比率	前期増減												
影響がある	84.9%	0.8	84.0%	7.3	76.9%	11.6	90.3%	-7.5	90.9%	4.1	93.8%	-0.9	73.7%	-7.0
影響はない	6.5%	1.8	4.0%	0.3	7.7%	-3.9	3.2%	7.1	9.1%	-4.1	0.0%	7.1	15.8%	3.2
わからない	8.6%	-2.6	12.0%	-7.7	15.4%	-7.7	6.5%	0.4	0.0%	0.0	6.3%	-6.3	10.5%	3.8

「影響がある」と回答した経営者の割合は、前回同様、全業種で60%を超えており、「製造業」「飲食業」「宿泊業」が90%以上の割合で影響があると回答した。

（製造業）「影響がある」と指摘する経営者は、対前期7.3ポイント増加し91.3%であった。

（建設業）「影響がある」と指摘する経営者は、対前期11.6ポイントと大きく増加して88.5%であった。

（小売業）「影響がある」との指摘は、対前期7.5ポイント減少し82.8%となった。

（飲食業）「影響がある」と回答したのが95.0%で対前期4.1ポイント増加し全業種のなかで一番多く「影響がある」と指摘する経営者の率が高い。

（宿泊業）「影響がある」と回答したのは92.9%で対前期0.9微減した。

【8】 自社の主な商品・サービスにおいて原材料の不足や高騰について「影響がある」とご回答いただいた方について、その具体的な内容。

1	受注額の減少がみられる（製造業・日高）
2	物価上昇による買い控え、賃金（経費）上昇とのバランスが保てそうも無い。働き方改革により労働時間短縮、年間休業日が増え営業日数減少分現金売上が伸びなくユーザー離れが進むのでは？と懸念する。（小売業・日高）
3	材料（昆布やカツオなど）来月から大幅な値上げとなる（飲食業・日高、出石）
4	いつまでも原材料の高騰が続き、非常にしんどいです（製造業・日高）
5	ロシア、ウクライナなどを中心に北欧からの原料が不足どころか安定供給せず、価格が高騰している。（小売業・日高）
6	業種がら受注から納品までに数年要するものも多く、その場合、原材料、エネルギー等の仕入れ単価が見積もり時より差異が生じ、利益を圧迫する現象が数年続いている。見積もり金額を物価上昇見通しを加味した場合、受注競争で受注は不可で八方塞がり状態。（建設業・竹野）
7	材料の高騰。今シーズンは既に宣伝広告等に記載しているので変更できないが、来シーズンから値上げをしざるを得ない状況。（飲食業・城崎）
8	影響はありますが定価を上げました。（飲食業・出石）
9	水道光熱費、仕入れ商品の高騰（サービス業・出石）
10	かに身の仕入れ価格が大きく上がり、今年1月にかに関係の値上げをしたが、それ以降にも、色々な材料の仕入れ価格が高騰。（飲食業・城崎）
11	前回よりさらに物価が上がり、すべての仕入れ値が上がったがなかなか商品の価格に転嫁できず、利益が上がらない。（飲食業・城崎）
12	10月から全国支援があり、宿泊客は好調。ただ、材料費等が高騰し利益がなかなかあがらない。（宿泊業・城崎）
13	本年度は、運賃、商品等び値上げ幅は軽微であったが、次年度以降の再度値上げの予告連絡あり（小売業・竹野）
14	業務形態の変化と地域の人口減少等も有り営業の持続を考える時が来ていると考えます（建設業・竹野）
15	原材料仕入価格が少しずつ上がり、輸入品についても円高の影響で値段が上がってきている。商品代金を少し値上したが、追いつかない状況にある。また、電気ガス等の料金も大幅に上がり採算が合わなくなってきており、当然資金繰りも厳しくなっている。（飲食業・出石）

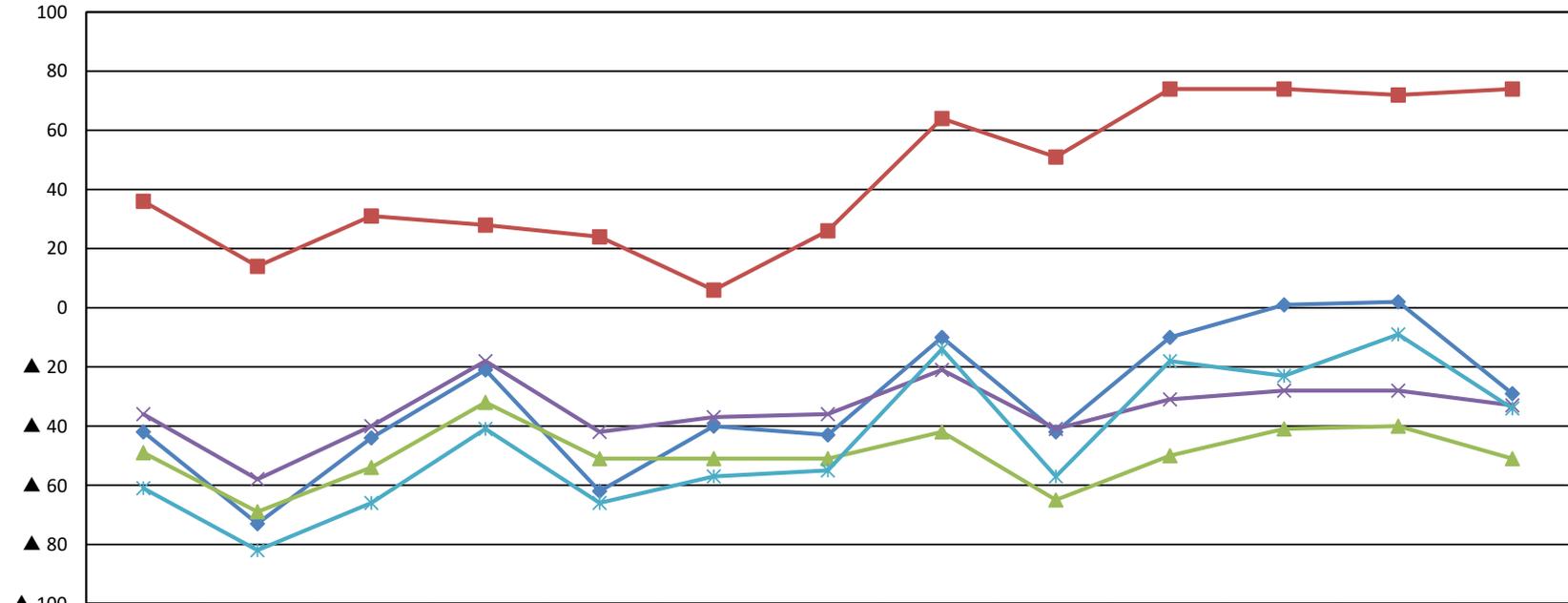
16	ガソリン代と水道光熱費の高騰でいくら省エネ化に取り組んでも採算が合わない。（製造業・但東）
17	仕入れ、消耗品等の購入の価格高騰を即時販売価格へ転嫁できていない。 自助努力の限界。（サービス業・但東）
18	今年さまざまな物（材料や資材等）が値上りしたが来年にもまた上がるという情報や連絡がある一方で、賃金（人件費）も上げていかないといけないため、採算性や資金繰りがどうなるかという不安があります。（製造業・日高）
19	ペット用処方食の価格上昇が目立つ。（サービス業・但東）
20	今年の5月に10%値上げしたが、来春もう一度値上げを検討中。お客様が減らないか心配。（飲食業・日高）
21	円安による仕入れ価格の高騰、燃料費の高騰（製造業・日高）

【9】自由コメント

1	コロナも落ち着きをみせてきてはいるが元には戻りそうにない。原料の高騰に限らず輸入に頼らざるを得ない現況を考えるとまだまだ価格は安定しそうにない。（小売業・日高）
2	業界的に若手従業員の確保が難しい状況になっている。昨年、今年と新卒、地元就職希望社0人。このような状況が続けば近い将来事業継続が難しくなる。具体的には、道路の除雪はできなくなる。豪雨災害が発声した場合、災害復旧を全面的に自衛隊に頼ることになるでしょう。全国的そのような状況にあれば見捨てられる地域が発生することになるであろう。（建設業・竹野）
3	売上自体は上がっているが全国旅行支援によるものと考ええると、支援策終了後への不安はある。（飲食業・城崎）
4	発注側が値上がり止む無しと思える世の中になって欲しい。（建設業・城崎）
5	国として価格高騰に対しての助成メニューが必要。（飲食業・出石）
6	原材料、光熱費、また人件費、の金銭面の上昇にくわえ、インボイスなどの煩わしい制度、国や県の政策にて余計な手間暇がかかります。ようやく地方においてもキャッシュレス決済が認知されてきたと思います。（宿泊業・日高）
7	以前から、事業継承したいと思っているが、キャッシュレス・各種クーポン券・GO TO等の引継ぎ手続き等が面倒で不安。（飲食業・城崎）
8	インボイス制度が理解できておりません（建設業・竹野）
9	コロナの影響かまだまだ団体客の入込が少ない。個人の旅行支援のお客さんは増えてはいるが、年末年始の忘年会、新年会の予約が全く少ない。出控え、家飲みが定着してきているのだろうか？（飲食業・出石）
10	水道光熱費が大幅に上昇しているが価格転嫁に苦慮している。料金アップでの顧客離れへの懸念される。社員のベースUPまでまわらない（サービス業・但東町）
11	まだまだコロナの影響は強く消費形態も変化している。併せて仕入（食材他）高騰に伴う消費者への価格転嫁等の切り替えのタイミングが難しい。また、一部価格転嫁も行っているが、この先の仕入高騰も全く読めなく計画的な営業活動に諸問題が残る。（小売業・出石）
12	原材料の高騰が止まらない。価格転嫁をどれくらいに合わせればいいのか。（小売業・日高）
13	世間（政府）ではコロナは終了という方向ではあるが、コロナが始まって以来、売上が不安定かつ事業継続のための借入れは増加している。まだ世間が安定期間に入っていない状況でコロナ借入の返済がはじまり、ウクライナ情勢等による原材料価格については上昇傾向、最低賃金も毎年大幅に上昇、どう資金繰りを考えていけばいいのか大変不安です（製造業・出石）

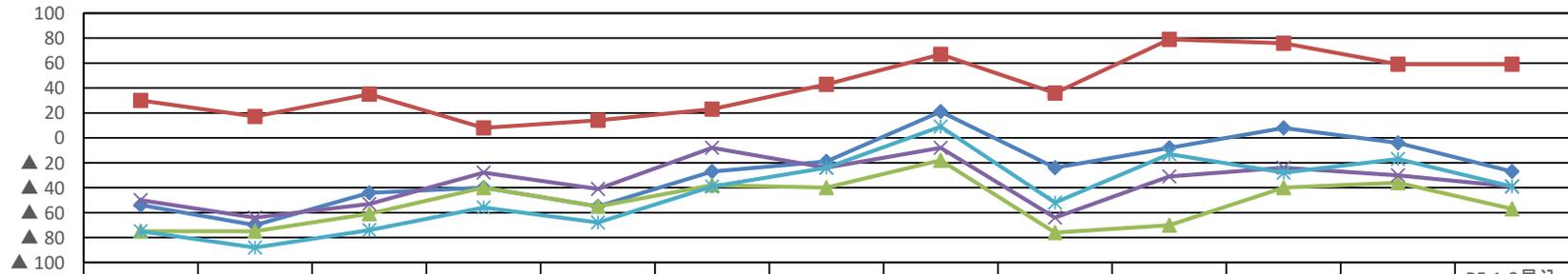
豊岡市商工会管内における3年間の景気動向調査結果

全業種DI推移



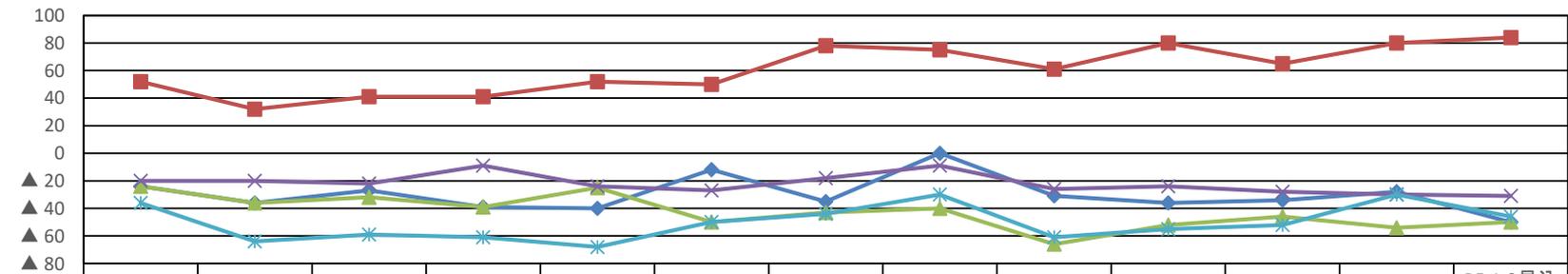
	R2.1-3	R2.4-6	R2.7-9	R2.10-12	R3.1-3	R3.4-6	R3.7-9	R3.10-12	R4.1-3	R4.4-6	R4.7-9	R4.10-12	R5.1-3見込み
売上高	▲ 42	▲ 73	▲ 44	▲ 21	▲ 62	▲ 40	▲ 43	▲ 10	▲ 42	▲ 10	1	2	▲ 29
仕入単価	36	14	31	28	24	6	26	64	51	74	74	72	74
採算性	▲ 49	▲ 69	▲ 54	▲ 32	▲ 51	▲ 51	▲ 51	▲ 42	▲ 65	▲ 50	▲ 41	▲ 40	▲ 51
資金繰り	▲ 36	▲ 58	▲ 40	▲ 18	▲ 42	▲ 37	▲ 36	▲ 21	▲ 41	▲ 31	▲ 28	▲ 28	▲ 33
景況感	▲ 61	▲ 82	▲ 66	▲ 41	▲ 66	▲ 57	▲ 55	▲ 14	▲ 57	▲ 18	▲ 23	▲ 9	▲ 34

製造業DI推移



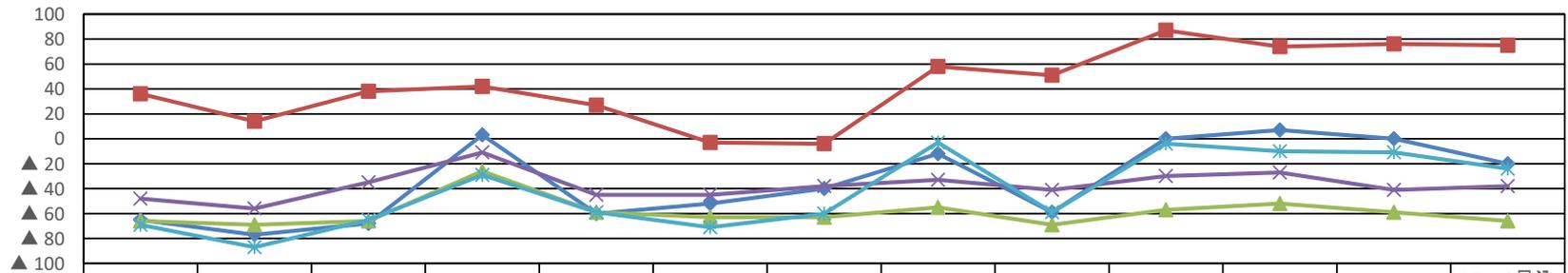
	R2.1-3	R2.4-6	R2.7-9	R2.10-12	R3.1-3	R3.4-6	R3.7-9	R3.10-12	R4.1-3	R4.4-6	R4.7-9	R4.10-12	R5.1-3見込み
● 売上高	▲ 54	▲ 70	▲ 44	▲ 40	▲ 55	-27	-19	21	▲ 24	▲ 8	8	▲ 4	▲ 27
■ 仕入単価	30	17	35	8	14	23	43	67	36	79	76	59	59
▲ 採算性	▲ 75	▲ 75	▲ 61	▲ 40	▲ 55	▲ 38	▲ 40	▲ 18	▲ 76	▲ 70	▲ 40	▲ 36	▲ 57
× 資金繰り	▲ 50	▲ 64	▲ 53	▲ 28	▲ 41	▲ 8	▲ 24	▲ 8	▲ 64	▲ 31	▲ 24	▲ 30	▲ 39
✧ 景況感	▲ 75	▲ 88	▲ 74	▲ 56	▲ 68	▲ 39	▲ 24	9	▲ 52	▲ 13	▲ 28	▲ 17	▲ 39

建設業DI推移



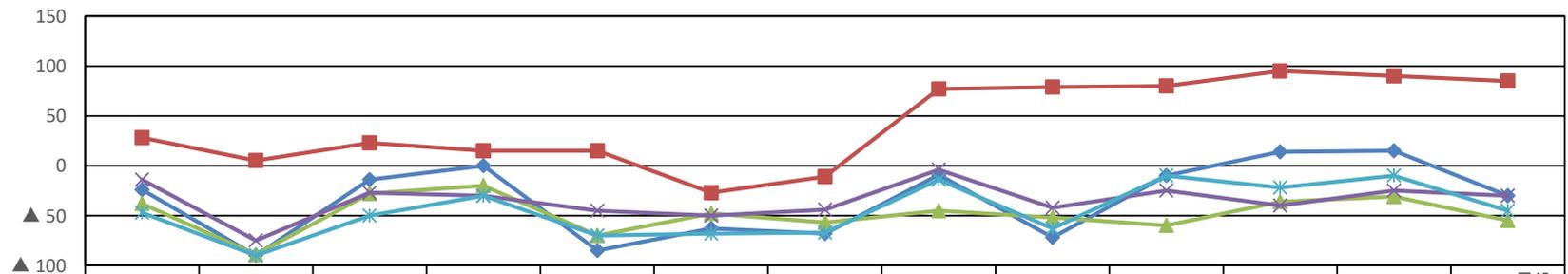
	R2.1-3	R2.4-6	R2.7-9	R2.10-12	R3.1-3	R3.4-6	R3.7-9	R3.10-12	R4.1-3	R4.4-6	R4.7-9	R4.10-12	R5.1-3見込み
● 売上高	▲ 24	▲ 36	▲ 27	▲ 39	▲ 40	▲ 12	▲ 35	0	▲ 31	▲ 36	▲ 34	▲ 28	▲ 50
■ 仕入単価	52	32	41	41	52	50	78	75	61	80	65	80	84
▲ 採算性	▲ 24	▲ 36	▲ 32	▲ 39	▲ 25	▲ 50	▲ 43	▲ 40	▲ 66	▲ 52	▲ 46	▲ 54	▲ 50
× 資金繰り	▲ 20	▲ 20	▲ 22	▲ 9	▲ 24	▲ 27	▲ 18	▲ 9	▲ 26	▲ 24	▲ 28	▲ 30	▲ 31
✧ 景況感	▲ 36	▲ 64	▲ 59	▲ 61	▲ 68	▲ 50	▲ 44	▲ 30	▲ 61	▲ 55	▲ 52	▲ 30	▲ 46

小売業DI推移



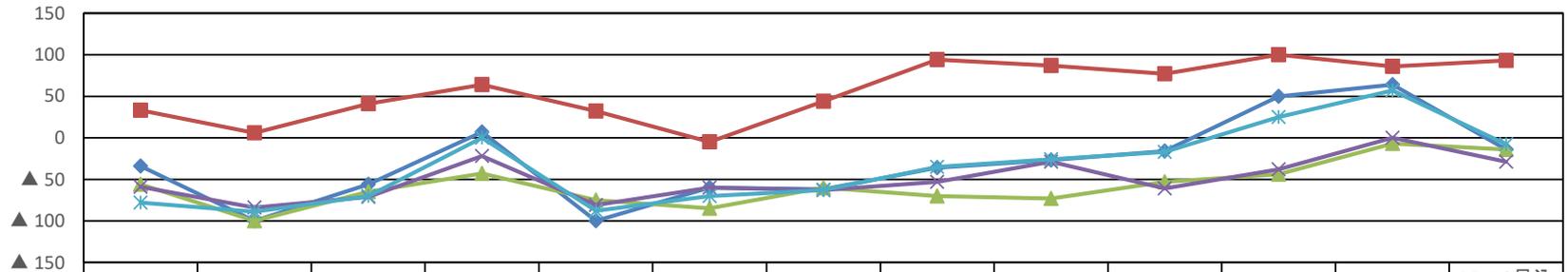
	R2.1-3	R2.4-6	R2.7-9	R2.10-12	R3.1-3	R3.4-6	R3.7-9	R3.10-12	R4.1-3	R4.4-6	R4.7-9	R4.10-12	R5.1-3見込み
●売上高	▲ 65	▲ 77	▲ 68	3	▲ 60	▲ 52	▲ 40	▲ 12	▲ 59	0	7	0	▲ 20
■仕入単価	36	14	38	42	27	▲ 3	▲ 4	58	51	87	74	76	75
▲採算性	▲ 66	▲ 69	▲ 66	▲ 26	▲ 59	▲ 63	▲ 63	▲ 55	▲ 69	▲ 57	▲ 52	▲ 59	▲ 66
×資金繰り	▲ 48	▲ 56	▲ 35	▲ 11	▲ 45	▲ 45	▲ 38	▲ 33	▲ 41	▲ 30	▲ 27	▲ 41	▲ 38
＊景況感	▲ 69	▲ 87	▲ 65	▲ 29	▲ 59	▲ 71	▲ 60	▲ 3	▲ 59	▲ 4	▲ 10	▲ 11	▲ 24

飲食業DI推移



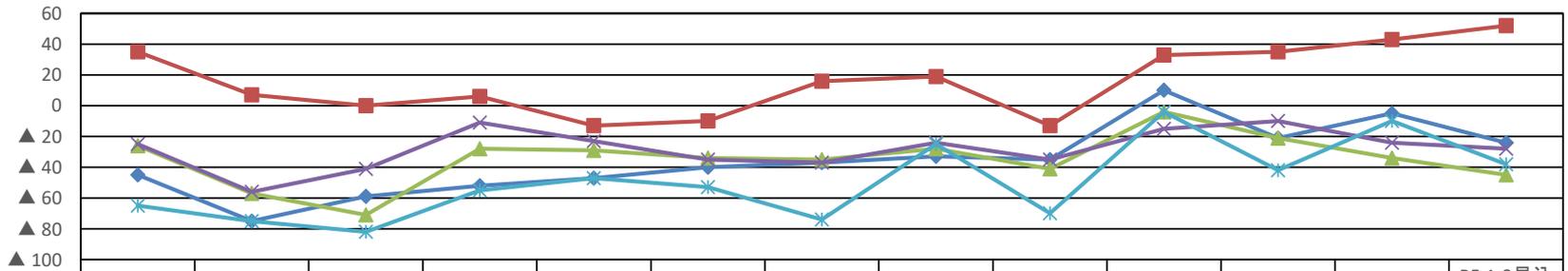
	R2.1-3	R2.4-6	R2.7-9	R2.10-12	R3.1-3	R3.4-6	R3.7-9	R3.10-12	R4.1-3	R4.4-6	R4.7-9	R4.10-12	R5.1-3見込み
●売上高	▲ 24	▲ 90	▲ 14	0	▲ 85	▲ 63	▲ 68	▲ 9	▲ 72	▲ 10	14	15	▲ 30
■仕入単価	28	5	23	15	15	▲ 27	-11	77	79	80	95	90	85
▲採算性	▲ 38	▲ 89	▲ 28	▲ 20	▲ 70	▲ 48	▲ 57	▲ 45	▲ 52	▲ 60	▲ 36	▲ 31	▲ 55
×資金繰り	▲ 14	▲ 75	▲ 27	▲ 30	▲ 45	▲ 50	▲ 44	▲ 4	▲ 42	▲ 25	▲ 40	▲ 25	▲ 30
＊景況感	▲ 47	▲ 90	▲ 50	▲ 30	▲ 70	▲ 68	▲ 67	▲ 14	▲ 63	▲ 10	▲ 22	▲ 10	▲ 45

宿泊業DI推移



	R2.1-3	R2.4-6	R2.7-9	R2.10-12	R3.1-3	R3.4-6	R3.7-9	R3.10-12	R4.1-3	R4.4-6	R4.7-9	R4.10-12	R5.1-3見込み
● 売上高	▲ 34	▲ 100	▲ 56	7	▲ 100	▲ 60	▲ 62	-36	▲ 27	▲ 16	50	64	▲ 14
■ 仕入単価	33	6	41	64	32	▲ 5	44	94	87	77	100	86	93
▲ 採算性	▲ 56	▲ 100	▲ 65	▲ 43	▲ 75	▲ 85	▲ 60	▲ 70	▲ 73	▲ 53	▲ 44	▲ 7	▲ 14
× 資金繰り	▲ 59	▲ 84	▲ 71	▲ 22	▲ 81	▲ 60	▲ 63	▲ 53	▲ 29	▲ 61	▲ 38	0	▲ 29
✧ 景況感	▲ 78	▲ 89	▲ 70	0	▲ 88	▲ 70	▲ 63	▲ 35	▲ 26	▲ 17	25	57	▲ 8

サービス業DI推移



	R2.1-3	R2.4-6	R2.7-9	R2.10-12	R3.1-3	R3.4-6	R3.7-9	R3.10-12	R4.1-3	R4.4-6	R4.7-9	R4.10-12	R5.1-3見込み
● 売上高	▲ 45	▲ 75	▲ 59	▲ 52	▲ 47	▲ 40	▲ 37	▲ 33	▲ 35	10	▲ 21	▲ 5	▲ 24
■ 仕入単価	35	7	0	6	▲ 13	▲ 10	16	19	▲ 13	33	35	43	52
▲ 採算性	▲ 26	▲ 57	▲ 71	▲ 28	▲ 29	▲ 34	▲ 35	▲ 28	▲ 41	▲ 4	▲ 21	▲ 34	▲ 45
× 資金繰り	▲ 25	▲ 56	▲ 41	▲ 11	▲ 23	▲ 35	▲ 37	▲ 24	▲ 35	▲ 15	▲ 10	▲ 24	▲ 28
✧ 景況感	▲ 65	▲ 75	▲ 82	▲ 55	▲ 47	▲ 53	▲ 74	▲ 25	▲ 70	▲ 4	▲ 42	▲ 10	▲ 38